

三  
ク  
ロ  
な  
視  
点  
と  
マ  
ク  
ロ  
な  
視  
点



- 立川 藍
- 安部 航平
- 大橋 萌々音
- 井上 大嘉
- 大林 弥京
- 小田 あいな
- 河辺 雅陽
- 北野 蓮
- 求 子韻
- 佐藤 沙哉
- 正化 薫
- 田村 歩
- 刁 琛童
- 内藤 円夢
- 宮崎 陽花
- 宗像 李樹
- 本木 みず希
- 森 祐弥
- 山岸 希里恵
- 山口 つぼみ
- 山崎 美奈
- 山本 琴子
- 李 海若
- 于 昊延
- 内田 琉翔
- 恩田 晴加
- 金 嘉美
- 李 可

2024 11.22 (金) — 11.28 (木)  
入場無料

横浜・BankART KAIKO  
横浜市中区北仲通5-57-2 KITANAKA BRICK & WHITE 1F  
みなとみらい線馬車道駅2a出口より徒歩1分



開館時間 11:00—19:00 (最終日は16:30まで)  
 参加学生 28名  
 担当教員 北野謙 小平雅尋  
 内容 平面写真作品、動画、インスタレーション、造本など、幅広い表現形態を予定  
 主催 東京造形大学 写真専攻領域  
 お問い合わせ 写真専攻領域 shashin@zokei.ac.jp



# 東京造形大学 写真研究所

東京造形大学写真専攻領域では、自己の表現を「研究」という視点から捉え直すことで、客観性と社会性を獲得することを目指しています。学生は1年時から各自のテーマを持ち、それぞれの手法で日々研究をしています。3年生を対象にした研究指標科目「写真表現研究」では、その成果を学外展を通じて広く発表します。

今年は「ミクロな視点とマクロな視点」をキーワードに、横浜・BankART KAIKOの大スペースで、日頃の研究成果を展示します。また会期中には、「教育と美術」をテーマにしたシンポジウムや、作品鑑賞会、展示作品の公開講評会などのイベントを行います。

## 関連イベント

- シンポジウム 「諸外国の美術教育事情」  
(連続シンポジウム「美術と写真を考える」の第二回)

11月24日(日)15:30~17:00

美術・写真・教育を考えるシンポジウムの2回目となる今回は「諸外国の美術教育事情」をテーマに、韓国やイギリスで学んだ経歴を持つ方々をお招きし、「美術」の社会的位置付けについて日本と比較しながら、その可能性について探ります。

パネラー: 金仁淑(アーティスト) 山本浩貴(文化研究者)  
北野謙(東京造形大学 特任教授)

司会進行: 鷹野隆大(東京造形大学 教授)

- 鑑賞会「写真を見る・聞く・話す」

11月24日(日)の12時と14時の2回

定員:各回5名/所要時間:45分/対象:中高生、一般

参加者の皆さんと学生と一緒に、作品についておしゃべりをしながら展示作品を鑑賞します。各回5分前に受付にお集まりください。

- 公開講評会

11月28日(木)13:30~16:30

東京ステーションギャラリー学芸員の若山満大氏をゲストに、一般に公開の形で学生の作品の講評を行います。大学の授業をどなたでも見学していただけます。

## 会場



横浜・BankART KAIKO  
横浜市中区北仲通5-57-2 KITANAKA BRICK & WHITE 1F  
みなとみらい線馬車道駅2a出口より徒歩1分

ミ

ク

ロ

な

視

点

マ

と

ク

ロ

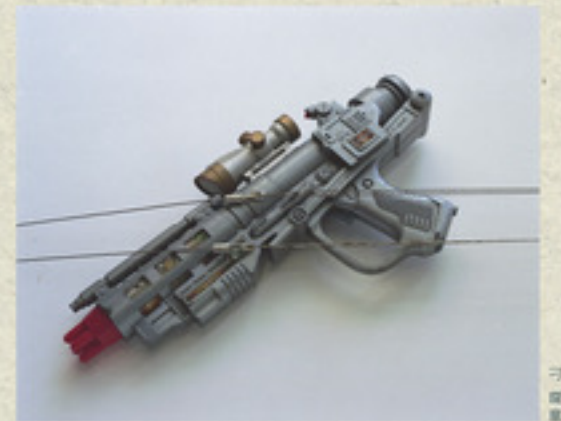
な

視

点



宇野 龍



宇野 龍



宇野 龍



井上 大



宇野 龍



専攻HP



公示Instagram